

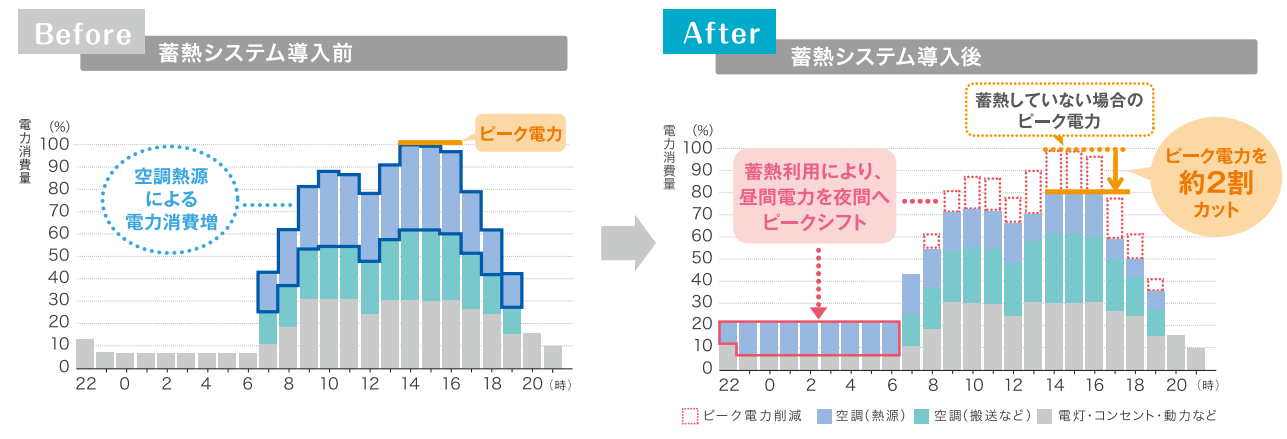


メリット
1

快適に空調を利用しながらピーク電力が削減できます!

ヒートポンプ・蓄熱システムによって、昼間の冷房に必要な冷熱の半分を夜間に「蓄えた」冷水や水で賄った場合、事務所建物のモデルケースにおいては、冷房をいつも通りに使用しても建物全体のピーク電力を約2割カットすることができます。

〈事務所建物のモデルケース〉



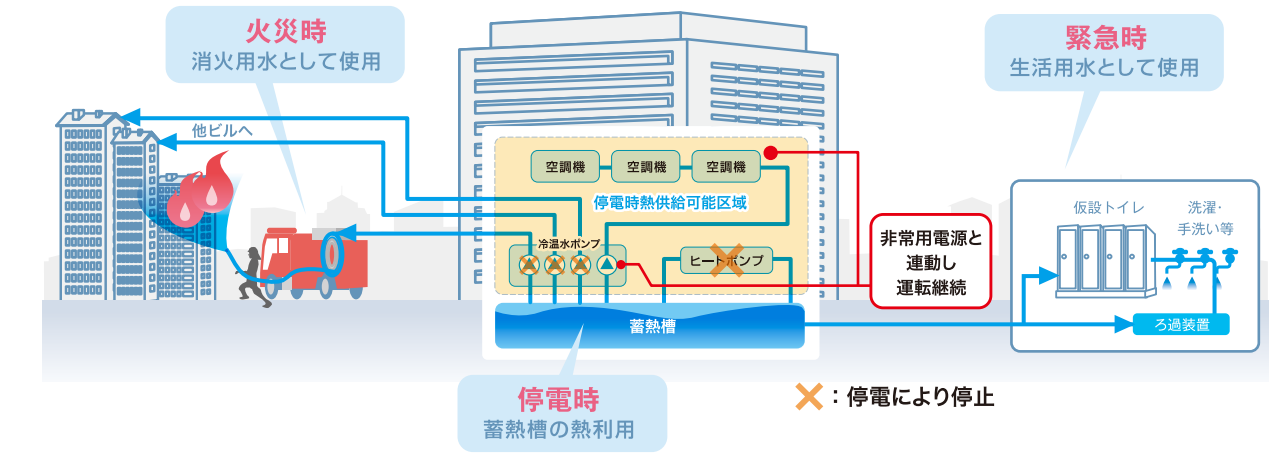
メリット
2

非常災害時には生活用水や消火用水として利用できます!

蓄熱槽に蓄えた水は、非常災害時において、トイレや手洗いなどの生活用水や火災時の消火用水として、また、ろ過装置を備えれば飲料用水としても利用することができます。さらに、災害時に停電となった場合でも、蓄熱槽水の保有熱を利用することにより、冷暖房を行うことができます。

建築物省エネ法における誘導措置(平成28年4月施行)においては、性能向上計画の認定を受けた場合、容積率特例などのメリットを受けることができます。(※容積率特例の対象設備として蓄熱設備が含まれています。)

〈蓄熱槽水の利用イメージ〉



さらに詳しく知りたい方はコチラ! /

ヒートポンプWEB講座
蓄熱WEB講座
蓄熱WEB講座PRO



ヒートポンプWEB講座

<http://www.hptcj.or.jp/study/tabid/111/Default.aspx> < Dr.イバト >

一般財団法人 ヒートポンプ・蓄熱センター

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1丁目2番5号 ヒューリック蛸殻町ビル6階
Tel: 03-5643-2401 Fax: 03-5641-4501 <http://www.hptcj.or.jp>


後援：経済産業省／警察庁／防衛省／総務省／法務省／外務省／文部科学省／厚生労働省／農林水産省／国土交通省／環境省
国立研究開発法人 国立環境研究所／国立研究開発法人 産業技術総合研究所／国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

協賛：一般財団法人 エネルギー総合工学研究所／公益社団法人 空気調和・衛生工学会／一般財団法人 建築環境・省エネルギー機構／一般社団法人 建築設備技術者協会／一般社団法人 建築設備総合協会／一般財団法人 建築保全センター／一般社団法人 公共建築協会／一般社団法人 住宅生産団体連合会／一般財団法人 省エネルギーセンター／公益社団法人 全国ビルメンテナンス協会／電気事業連合会／一般社団法人 電気設備学会／一般財団法人 電力中央研究所／東京商工会議所／一般財団法人 日本エネルギー経済研究所／一般社団法人 日本エレクトロヒートセンター／公益財団法人 日本環境協会／一般社団法人 日本機械学会／一般財団法人 日本経済団体連合会／一般社団法人 日本建設業連合会／一般社団法人 日本建築学会／一般財団法人 日本建築センター／日本商工会議所／一般財団法人 日本消費者協会／公益社団法人 日本青年会議所／一般社団法人 日本設備設計事務所協会連合会／一般財団法人 日本地域開発センター／日本チェーンストア協会／一般社団法人 日本電機工業会／一般社団法人 日本電設工業協会／公益社団法人 日本都市計画学会／日本百貨店協会／一般社団法人 日本病院会／一般社団法人 日本ビルエネルギー総合管理技術協会／一般社団法人 日本ビルメンテナンス協会連合会／公益社団法人 日本ファンリテイナージメント協会／公益社団法人 日本冷凍空調学会／一般社団法人 日本冷凍空調工業会／一般社団法人 日本冷凍空調設備工業連合会／一般社団法人 不動産協会／一般社団法人 文教施設協会／一般財団法人 ベターリビング／公益社団法人 ロングライフビル推進協会

ヒートポンプ・蓄熱システムで、快適・安心な暮らしを!

ヒートポンプ・蓄熱月間って?

冷房需要が本格化する毎年7月を「ヒートポンプ・蓄熱月間[※]」と定め、ピーク電力削減や省エネ性・環境性に優れ、非常災害時には蓄熱槽水を消火用水や生活用水として活用することができる「ヒートポンプ・蓄熱システム」の普及促進と技術向上を目的に産官学一体となり、感謝状(盾)贈呈やセミナー・シンポジウム開催などの諸活動を展開しております。



※平成10年より「蓄熱月間」として活動してきましたが、昨年度から「ヒートポンプ・蓄熱月間」へと活動名称を変更しております。

- 活動内容**
- 『ヒートポンプ・蓄熱システム』の普及にご貢献いただいた企業・団体等へ感謝状(盾)の贈呈[※]
 - 第14回ヒートポンプ・蓄熱シンポジウムの開催
 - 電力負荷平準化・省エネルギー社会実現セミナーの開催
 - ヒートポンプ・蓄熱システム採用事例施設見学会の開催
 - 告知・PR



※感謝状(盾)贈呈先の決定承認は有識者、大学教授等の第三者によって組織されます蓄熱専門委員会にて実施しております。

私達がいる、ヒートポンプ・蓄熱センターって?

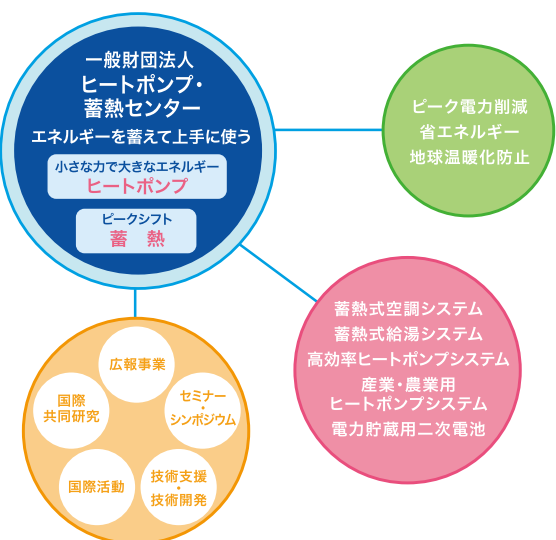
Heat Pump & Thermal Storage Technology Center of Japan



省エネルギーにすぐれ環境保全に貢献する、ヒートポンプ・蓄熱システム。ヒートポンプ・蓄熱センターではこのシステム・技術の普及啓発・調査・研究などを積極的に行っています。また国際活動にも活発に取り組んでおり、「ヒートポンプ」と「蓄熱」に関するわが国唯一のナショナルセンターとして活躍しています。

“蓄える”という視点でエネルギーの明日を考える

をコンセプトに、環境にやさしく経済的なこのシステムの普及を強力に推進しています。



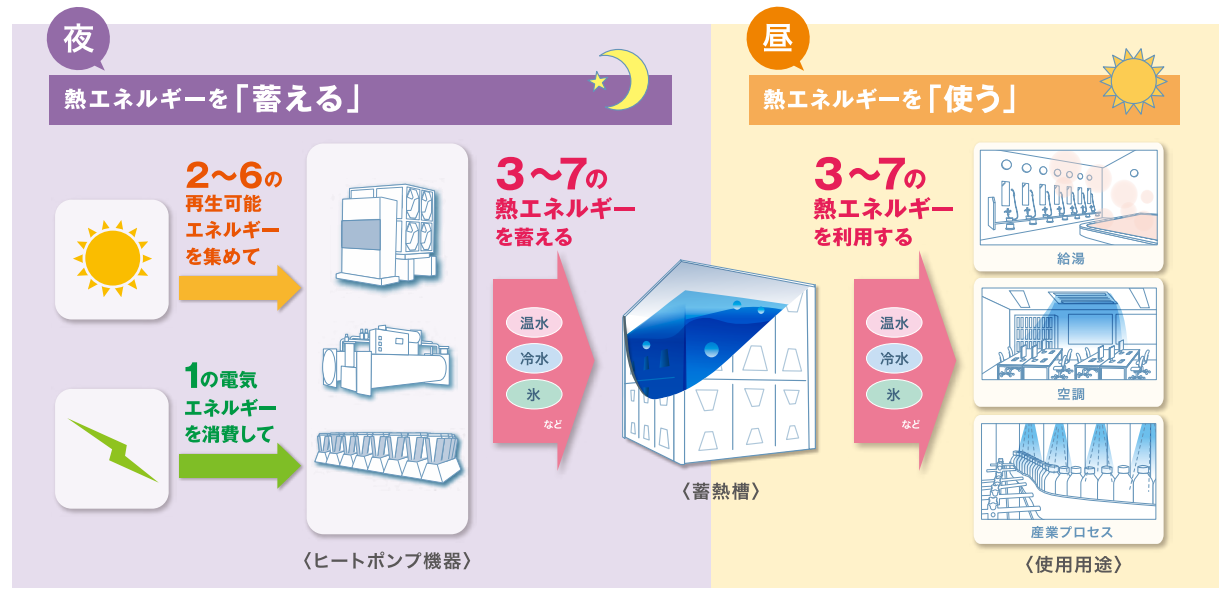
- 主な事業内容[※]**
- **広報・普及啓発活動**
普及啓発ツールの制作、イベント出展、蓄熱情報誌COOL&HOTの発刊、ニュースレターの発行、ヒートポンプ・蓄熱月間の展開、デマンドサイドマネジメント表彰等
 - **セミナー・シンポジウム**
電力負荷平準化・省エネルギー社会実現セミナー、技術者向けセミナー、蓄熱シンポジウム等
 - **技術支援・技術開発等**
蓄熱技術研修会、蓄熱設計者懇話会等
 - **国際活動**
国際機関(IEA、IRENA等)との連携、各国・地域との連携、国内外関係機関との連携、ヒートポンプに関する国際標準づくり等
 - **国際共同研究**
IEA「ヒートポンプ実施協定」に基づく国際共同研究
IEA「蓄熱(エネルギー貯蔵)実施協定」に基づく国際共同研究等
 - **ヒートポンプ・蓄熱システム関連テーマ研究会**
高密度・駆体蓄熱研究会、ヒートポンプ応用研究会、次世代冷媒ヒートポンプ研究会等
- ※詳細はセンターパンフレットもしくはホームページ(<http://www.hptcj.or.jp>)をご確認ください。

ヒートポンプ・蓄熱システムについて

ヒートポンプ・蓄熱システムは空調をはじめ、給湯や産業プロセスなど様々な場面で活躍しています。

ヒートポンプ機器と蓄熱システムを組み合わせるヒートポンプ・蓄熱システムは、冷暖房や給湯、産業プロセスなどに必要となる熱や冷熱を温水や冷水(氷)として夜間に蓄熱槽(タンク)へ「蓄えて」、昼間(必要となる時間)に取り出して「使う」システムです。このように蓄熱槽と高効率なヒートポンプ機器を組み合わせることにより、**省エネとピークシフト(本来昼間に使う電力の夜間移行)を同時に実現**することができます。

※ヒートポンプ機器は電気エネルギーだけでなく、空気や水などから自然の熱(再生可能エネルギー)を「集めて」熱を作るため、高効率な運転が可能です。



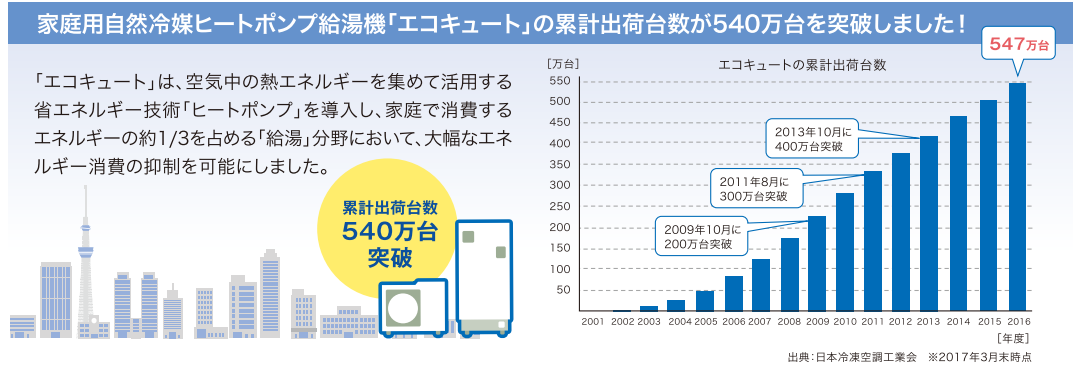
地球温暖化対策にも貢献するヒートポンプ・蓄熱システム

一昨年に、フランス・パリで開催されたCOP21において、温室効果ガス削減目標に係る国際的な枠組み「パリ協定」が採択され、世界共通の目標として、産業革命前からの温度上昇を2°C未満に抑え、主要排出国含むすべての国が削減目標を5年ごとに提出・更新することなどが盛り込まれました。これを受けて日本では、温室効果ガスの削減を2030年度において、2013年度比26%減とする削減目標の達成に向けて取り組むことになりました。また、この目標を実現するため、昨年の5月に地球温暖化対策計画が閣議決定され、その中で省エネ性の高いヒートポンプ・技術を活用した機器の導入促進が示されており、再生可能エネルギー利用機器であるヒートポンプ・蓄熱システムの効率的な運用に機運が高まっています。

ヒートポンプ・蓄熱システムは拡がり続けています。

ヒートポンプ・蓄熱システムの導入実績は、全国で約3万3千件、ピーク電力削減量は約196万kW(推計)に達しており、一般家庭の約50万世帯[※]の削減効果を発揮しています。

※一般家庭の契約電力を4kW(40A)として算定。



ピーク電力削減量(推計)
約196万kW

全国で約3万3千件の導入実績